

1. 略歴

- 1994年3月 京都大学文学部史学科（西南アジア史学専攻）卒業
- 1996年3月 京都大学大学院文学研究科東洋史学（西南アジア史学）専攻修士課程修了
- 1996年4月 京都大学大学院文学研究科歴史文化学専攻（西南アジア史学専修）博士後期課程進学
- 1997年11月 テヘラン大学文学部史学科博士課程留学
- 2002年3月 京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学
- 2002年4月 京都大学研修員
- 2002年8月 バンベルク大学人文学部イラン学科留学
- 2003年4月 日本学術振興会特別研究員 PD
- 2005年11月 博士（文学）学位取得（京都大学）
- 2006年4月 北海道大学大学院文学研究科歴史地域文化学専修・東洋史学講座 助教授
- 2007年4月 北海道大学大学院文学研究科 准教授
- 2016年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

西アジア史、イラン史、宗教社会史

b 研究課題

シーア派の聖地巡礼や死者を聖地に埋葬する「移葬」など、西アジアの宗教社会史的研究を主たる研究課題としている。近年は、アルメニア人などの宗教マイノリティにみるイスラーム社会や、ムスリム側から見た仏教やキリスト教といった異文化接触に関心があり、また、多様な人びとからなる西アジアの都市社会の比較検討を行っている。

c 概要と自己評価

2018年度から始まった新学術領域研究「都市文明の本質」の計画研究班代表として、イスラーム時代の西アジア都市に関する研究を進めている。2021年12月には、論文12本、コラム3本をおさめた編著『都市からひもとく西アジア』（勉誠出版）を共同研究の成果として刊行した。個人研究では、都市イスファハーンに関して商業や職人工芸、および墓地といった様々な観点から考察するとともに、聖廟をもつ聖都アルダビールについても専論を発表した。また、西アジア・イスラーム社会の中の異教徒に関する研究を進めるとともに、ライフワークでもある「移葬」や「聖地巡礼」に関して研究成果の発表に努めている。

d 主要業績

(1) 著書

- 共著、上島享・吉田一彦、『日本宗教史2 世界のなかの日本宗教』、吉川弘文館、2021.2
- 辞書・辞典・事典、社会経済誌学会編、『社会経済史学事典』、丸善出版、2021.6
- 編著、守川知子、『都市からひもとく西アジア——歴史・社会・文化』、勉誠出版、2021.12
- 辞書・辞典・事典、吉澤誠一郎監修、『論点・東洋史学：アジア・アフリカへの問い158』、ミネルヴァ書房、2022.1

(2) 論文

- 守川知子、「イスラーム教の聖地巡礼とその多層性——日本の巡礼との比較研究に向けて」、上島享・吉田一彦編『日本宗教史2 世界のなかの日本宗教』、吉川弘文館、121-144頁、2021.2
- 守川知子、「隔離される巡礼者たち——シーア派聖地巡礼と検疫制度の近代——」、『歴史学研究』、1011、26-37頁、2021.7
- 守川知子、「西アジアの“ねずみ”をめぐる文化誌」、『BIOSTORY』、36、46-53頁、2021.12
- 守川知子、「イスファハーンは世界の半分？」、『都市からひもとく西アジア——歴史・社会・文化』、194-215頁、2021.12
- 守川知子、「聖都アルダビールとサファヴィー朝下のサフィー廟」、『アジア・アフリカ言語文化研究 別冊』、2022年1、213-230頁、2022.3

(3) 学会発表

- 国際、Tomoko Morikawa, “An Armenian Merchant Family from New Julfa in Isfahan under the Safavid Empire: A Case Study of the Valijan Family,” 65th International Conference of Eastern Studies, 2021.5.15

国際、Tomoko Morikawa, “Non-Muslim Minorities and a Shi’ite Empire: Armenians and Jews in Safavid Persia,” Sixth European Congress on World and Global History: Minorities, Cultures of Integration, and Patterns of Exclusion, 2021.6.16

国内、守川知子、「西アジアの“ねずみ”をめぐる文化誌」、生き物文化誌学会第 82 回例会「人と“ネズミ”の片思いの関係史から人類史を読み解く」、2022.1.29

(4) 研究報告書

守川知子、「職人のまちイスファハーン——19 世紀の手工業者一覧にみる伝統産業」、『新学術領域研究「都市文明の本質——古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 3」研究成果報告 2020 年度』、3 (2020 年度)、255-265 頁、2021.3

守川知子、「イスファハーンの歴史的墓地にみる都市と墓地の空間構造」、『新学術領域研究「都市文明の本質——古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 4」研究成果報告 2021 年度』、4 (2021 年度)、205-216 頁、2022.3

(5) 予稿・会議録

国際会議、Tomoko Morikawa, “<Symposium III> Armenian Communities and Their Global Network from the Seventeenth to the Early Twentieth Centuries,” 65th International Conference of Eastern Studies

Transactions of the International Conference of Eastern Studies, 65, pp. 148-152, 2021

(6) 会議主催 (チェア他)

国際、Panel Symposium: Armenian Communities and Their Global Network from the Seventeenth to the Early Twentieth Centuries, 65th International Conference of Eastern Studies, Online, 2021.5.15

国際、Panel Session: Minorities in Eurasian Empires: Their functions for the survival of empires, Sixth European Congress on World and Global History: Minorities, Cultures of Integration, and Patterns of Exclusion, Online, 2021.6.16

(7) 教科書

『現代の歴史総合：みる・読みとく・考える』、久保文明・中村尚史、執筆、山川出版社、2021

『わたしたちの歴史：日本から世界へ』、市川大祐・長井伸仁・吉澤誠一郎、執筆、山川出版社、2021

(8) 研究テーマ

科学研究費補助金、守川知子、研究代表者、基盤研究 (B)、「近世ユーラシアにおける宗教・交易ネットワークとアルメニア人」、2017 年度～

科学研究費補助金、守川知子、研究代表者、挑戦的研究 (萌芽)、「シーア派イスラームの聖廟・墓地の形成と発展：法理論と地理空間情報による総合的研究」、2017 年度～

新学術領域研究 (研究領域提案型)「都市文明の本質——古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究」(領域代表・山田重郎・筑波大学)、守川知子、研究代表者、計画研究 05「中世から近代の西アジア・イスラーム都市の構造に関する歴史学的研究」、2018 年度～

3. 主な社会活動

(1) 学会等

国内、東洋史研究会、評議員、2016.11～

国内、日本中東学会、評議員、2017.4～

国内、東方学会、学術委員、2019.6～

国内、史学会、編集委員、2019.7～

国内、東洋文庫、兼任研究員

国内、内陸アジア史学会、理事、2018.10～